



木村雅之さんよりご提供



## 地域の中での看護の役割

国家公務員共済組合連合会 名城病院看護部長

和田 一枝

来るべき2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が動き始めています。地域包括ケアシステムとは、年齢を重ね介護が欠かせない状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのことです。行政と医療と地域で暮らす人々が力を合わせてまちづくりをするに匹敵する大事業です。

この中での看護の役割として、今当院の看護師は退院支援に熱心に取り組んでいます。「ときどき入院、ほぼ在宅」という言葉が、地域包括ケアシステムのキーワー

ドです。住み慣れた地域で暮らすつづけることを叶えるためには、私たちの看護のゴールが退院ではなく、地域で暮らせることだと考えています。入院後出来るだけ早い時期に、退院後の生活支援の必要性を見極めるために、病棟の看護師、医療ソーシャルワーカー、退院調整の担当看護師が情報交換をしながら、患者さんとご家族の状況把握に努めています。

そして何より大切なのは、地域で引き続き患者さんの生活を支えてくださる方々との連携です。昨年9月から開始した「看・看連携を考える会」は5回を数え、中区、中村区、西区、東区、北区の訪問看護ステーションの方々と、実践

的で密度の濃い話し合いの場となっています。また、訪問看護ステーションの看護師を対象とした勉強会も開催しています。テーマは、「嚥下(えんげ)障害のある方への食事援助のコツ」「在宅療養の場で活かせる感染予防と対策(インフルエンザとノロウイルス)」「ナースに求められるフットケア」等で、主に当院の認定看護師が講師を担当しています。どなたも仕事が終わってからの参加ですが、その熱心さに講師も感激し、彼らのモチベーションアップにもつながっているようです。

看護師が、患者さんの生活を支える視点を持ち、病院と地域が看護師の連携を通して密接につながっていくことで、退院後の生活への安心感が得られると考えています。私たち看護師間の連携が、地域包括ケアシステムの中での安心材料になるように、広く・深く進めていきたいと思ひます。



- ・めまい、たちくらみがある
- ・筋肉のこむら返りがある(痛い)
- ・汗がふいてもふいても出てくる



重症度Ⅰ度

水分・塩分の補給を。

- ・頭がガンガンする(頭痛)
- ・吐き気がする
- ・吐く
- ・体がだるい(倦怠感)



重症度Ⅱ度

足を高くして休む  
または病院へ

- ・意識がない
- ・体がひきつる(痙攣)
- ・呼びかけに対し返事がおかしい
- ・真っ直ぐに歩けない、走れない
- ・高い体温である



重症度Ⅲ度

水や氷で冷やし、  
すぐに救急車を要請する

# 歯科口腔外科

歯科口腔外科部長

服部浩朋

## 「口は禍の門」

口腔の2大感染症は「歯周病」と「齲蝕」です。この2つは国民の大部分が罹患する感染症ですが、直接生命に関わる感染症ではないと軽視される傾向にありました。

しかし、近年の基礎研究や疫学調査により歯周病などの口腔感染症が、誤嚥性肺炎、感染性心内膜炎、糖尿病、動脈硬化、心筋梗塞、脳卒中、早産・低体重児出産、バージャー病、掌蹼膿疱症、NASH（非アルコール性脂肪肝炎）、腎臓病や肥満などのさまざまな全身疾患を引き起こしたり増悪させることが明らかになってきました。エイズウィルスを活性化したりインフルエンザウィルスの侵入を容易にするとの報告や腸内細菌叢の変化から免疫力を低下させ癌を増悪するとの報告もあります。

また、多くの歯を喪失すると認知症が発症しやすくなるとも

言われています。このように、口腔感染症はさまざまな形で全身に悪影響を与えているのです。

ちなみに、厚生労働省の統計によると日本における平成25年の死亡原因は、第1位：悪性新生物（癌）、第2位：心疾患、第3位：肺炎、第4位：脳血管疾患の順でした。実に、この4疾患とも口腔感染症と関連のある可能性があるのです。

歯周病も齲蝕も、その予防・治療法は共通です。最も重要なのは徹底的な原因除去、すなわち病原細菌のコントロールです。この原因除去には2つの方法があります。1つは患者さん自身の行うセルフクリーニングで、もう1つは歯科医師や歯科衛生士が行うプロフェッショナルクリーニングです。セルフクリーニングの基本は歯ブラシによる歯磨きですが、自己流の磨き方では十分な効果を得ることが困難ですので、歯科医師や歯科衛生士の指導を受け、正しい磨き方を身につけることが重要

です。

一方、プロフェッショナルクリーニングは、歯科医師や歯科衛生士が専用の機械を用いて歯石（歯周ポケットの外と中の両方）、歯垢や着色を除去します。歯のみならず全身の健康のためには、セルフクリーニングに加えてプロフェッショナルクリーニングを受けられることを是非ともお勧めいたします。

「口は禍の門」と言いますが、実際に口腔は全身疾患の元と言えます。当科では、徹底的な原因除去（プロフェッショナルクリーニング）と薬物療法による歯周病治療を行っています。また、心臓や癌の手術前の患者さん、癌の化学療法中の患者さん、誤嚥性肺炎の患者さん、糖尿病の患者さんの口腔ケアに力を入れています。私どもは「歯を診て人を診す」ということにならないよう肝に銘じ、歯科と医科との連携を推進しています。

## 10階病棟

10階病棟師長

小林雅子

## 10階病棟紹介

10階病棟は、今年の5月に「療養病棟」から「地域包括ケア病棟」へ転換しました。地域包括ケア病棟とは、急性期治療を終えられた患者さんの自宅退院に向けて支援を行う病棟になります。

入院から退院までの流れは、主治医・看護師・医療ソーシャルワーカーで最長60日の入院期間でどのような方向性で進めるか患者さんに確認します。その後患者さんに合わせた援助を行います。日々の患者さんへの援助は看護師・介護福祉士が行い、退院後の生活を踏まえ自立に向けて支援します。リハビリ

テーションの必要な患者さんは、理学療法士や言語聴覚士等と連携し、運動機能の維持・向上に向けて支援します。また退院後に介護サービスを受けたい、あるいは介護サービスの利用が必要な方は、医療ソーシャルワーカーや患者さんの担当ケアマネージャーと連携し、退院後の生活を考えたサービス調整をしていきます。

このように、様々な職種のスタッフがそれぞれの役割を活かし、退院後の生活を見据えて患者さんが、安心して退院できるように日々努めています。また生活の場としての病床環境の調整に努め、ご高齢の患者さんに



は穏やかな気持ちで過ごせるように援助をしています。

そのために、私たちは患者さんの病気に対する思いや自宅に帰るにあたり不安に思っていることを受け止め、患者さんと共に退院に向けて進んでいけるような関わりを大切にしています。これからもその思いを胸に患者さんへの看護に努めていきたいと思えます。

## 放射線診断科

放射線診断科部長

砂場 鋼治

## 放射線診断科 診療紹介

昨年11月より赴任しました、放射線診断科の砂場といいます。よろしくお願いいたします。

放射線診断科とはあまり聞きなれない科であり、仕事の実態もすぐに解って頂ける方も少ないのですが、いわゆる画像診断であり、読影業務が主です。

読影とは読んで字の如く、影を読むことであり、患者さんご本人を直接診察すること

はまずありませんが、検査によって得られたCTやMRI等の画像を解析し、レポートにまとめて主治医に報告することです。医師の業務としては最も地味な部類に入ります。

画像はあくまで“影”であり、病理検体のように確実な答えが得られるわけではありません。ある意味、画像をもとに病態を推理するといったほうが正しいかもしれませ



ん。ただしそこには、臨床経験や各科固有の知識がある程度必要で、そこが大変であるとともに、楽しいところでもあります。

臨床各科の裏方として、地味な業務ですが、少しでも臨床の先生方のお力になれば良いと思っています。よろしくお願いいたします。

## 外来化学療法室

がん化学療法看護認定看護師

中野 寛子



平成27年5月当院2階に外来化学療法室を開設いたしました。名古屋城周辺の木々に囲まれ、患者さんが快適に治療を受けることができるような環境づくりに努めています。

これまで各科診療科で治療を受けてこられた患者さんからは、「静かな環境で心穏やかに治療が受けられる」「お部屋が明るくなった」その他、感謝の声を頂戴しています。

化学療法室では、患者さん

## 外来化学療法室を開設しました

の体調をきめ細かく観察し、最大の効果が得られるように、医師、薬剤師、がん化学療法看護認定看護師が三位一体となって患者さんやご家族を援助致します。

抗がん剤治療では、頻回の投与が必要となり、副作用に悩まされること、日常生活に支障が出ることもあります。しかし、これを全て当たり前のことと片づけることなく、なぜそうなるのかを把握し、どうすれば患者さんがより楽に治療を受けることができるのかを、積極的に医療スタッフとともに考え、精神的なサポートもしていく必要があると考えます。

外来化学療法室では今後、抗がん剤治療の患者さんだけでなく、生物学的製剤治療を受ける患者さんもお利用していただけるように整備していきます。

これからも患者さんがより良い環境で治療を受けられるよう、スタッフ一同邁進して参りますのでよろしくお願いいたします。

新任  
ドクター  
紹介

## 吉崎道代 消化器内科

今年7月より消化器内科医として着任しました、吉崎道代と申します。主に消化器や肝・胆道系疾患の患者さんをみたり、腹部エコーや胃カメラなどの検査を行っています。地域の皆様や病院に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

ニ  
ュ  
ー  
ス

# 振り込め詐欺にご注意

去る5月7日に、愛知県警察シンボลมスコットのコノハけいぶが来院しました。5月の連休明けで銀行が6日振りに再開するのを待って、振り込め詐欺を防止する一斉活動の一環として来院したのです。

メ〜テレからもコノハけいぶの防犯活動風景を撮影にきました、女性警察官と一緒に高齢

者の方にチラシを配っている姿や、子供に慕われる姿が撮影され、午後のニュースで放映されました。

ちなみにコノハけいぶは愛知県の県鳥であるコノハズクをモデルにしており、「警部」という立派な階級を持っています。また、奥さんと3人の子供、おじいさん、おばあさんの7人家族で、奥さんも警察官で「警部」だということ、みなさんご存知でしたか？



あい・まもる・みらい、の3人の子供の名前にもそれぞれ由来があります。興味のある方は愛知県警のホームページをご覧ください。

私たちと一緒に働きませんか？

## 常勤看護師 募集!!

看護師・助産師免許取得または取得予定の方、ぜひ一度病院見学・インターンシップにご参加ください。詳しくはホームページ 又は 052-201-5311

人事担当 岡島まで



### 編集後記

夏本番、屋内外で特に気をつけたいのが熱中症。「自分は大丈夫」そう思っていないか？熱中症は、日射病、熱けいれん、熱疲労、熱射病に分けられます。救急車で搬送例が多いのは熱疲労、熱射病は生命の危機を伴う状態です。汗をかかない人は要注意！高齢者の方は水分を取る習慣をつけましょう!! K.I



<http://www.meijohosp.jp/>

## 名城病院診療等のごあんない



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。



### 診療科目

内科（消化器内科／呼吸器内科／腎・糖尿病内科）、循環器科／循環器センター、小児科／小児循環器科、外科、整形外科、胸部心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、歯科口腔外科、神経内科



### 診療受付時間

新患 午前8：30～11：30  
再来 午前8：00～11：30



### 休診日

土・日・祝日・年末年始  
(12月29日～1月3日)



### 面会時間

一般 午後0：30～8：00  
新生児 午後0：30～8：00  
(授乳時間をのぞく)  
I C U (家族のみ) 午後0：30～4：30  
午後5：00～8：00



・時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越してください。  
・人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

052-201-5311 FAX 052-201-5318